

第三次犬山市子ども読書活動推進計画（案）についてのご意見の内容と市の考え方

計画名	第三次犬山市子ども読書活動推進計画
募集期間	令和6年2月21日（水）から3月21日（木）まで
公開場所	市ホームページ、市役所1階市民プラザ、各出張所（城東、羽黒、楽田、池野）、市立図書館
意見数	7件

いただいた意見・提案【1】

名古屋経済大学図書館との連携は考えるべきではないでしょうか？ 学生や大人だけに開放されている図書館ではありませんし、先方の開架式には、乳幼児・児童向けの本もたくさんあります。大学図書館というアカデミックな空気感に触れる事も、子どもにとって貴重な体験だと思います。

市の考え方【1】

市立図書館は平成27年より名古屋経済大学図書館と連携事業を行っており、16歳以上の市民は市立図書館の図書館カードを所持している場合、名古屋経済大学図書館の利用登録を無料で行うことができます。また、相互貸借制度を実施しており、市民は名古屋経済大学図書館の資料を取り寄せることが可能です。そのほかにも、毎年連携事業として同一テーマでの本の展示、合同研修など様々な企画を実施しています。

今後は前述の連携事業の継続により双方の図書館の交流及びPRを行うことで、子どもたちや保護者の方に制度を活用してもらおうことができるよう取り組んでいきます。

なお、大学施設の子どもの利用に関しては、当該大学の方針にもよります。ご意見については共有させていただきます。

いただいた意見・提案【2】

本館は市民誰もが存在を知っていますが、楽田はどうでしょうか？ 楽田の住民でも存在や利用方法を知らない人がたくさんいます。まず、地域で認知してもらい、南部在住の子どもを図書館に行かせる。そんな計画を入れていただきたいです。

市の考え方【2】

計画（案）の基本方針2「子どもの読書環境の整備・充実」では、市立図書館の環境整備・充実として、楽田ふれあい図書館の活用促進を具体的施策に掲げています。

今後とも地域の方々に愛される図書館を目指して図書館運営に取り組んでいきます。

いただいた意見・提案【3】

近隣自治体との連携は？ 高校生になれば、小牧、江南の新図書館を利用するケースも増えます。「本に親しむ・図書館に通う」習慣を身に付けるためには、近隣と連携する事も視野に入れてはどうでしょうか？

市の考え方【3】

市立図書館では近隣自治体との相互貸借制度を実施しており、市民は他市町村の資料を取り寄せることが可能です。

今後は現在実施している制度の継続及び行事での交流なども検討しながら、子どもたちにとって実のある施策となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

いただいた意見・提案【4】

1.にぎやかな図書館の開催

図書館で無邪気に母親に話しかける幼児にお母さんが何度も静かにするようさとしている場面を見たことがあります。ふと、子どもがただ機嫌よく話すことがなぜいけないことなんだろうと思ひました。また、子どもに限らず黙っているのが苦手な個性を持った人もいるんじゃないかと思ひました。子どもや赤ちゃん連れの利用者が気兼ねなく利用できる赤ちゃんタイム、キッズタイムなどを設けている図書館もあるようです。でも特別の配慮という意味に限らず、子供でも大人でもおしゃべりしながら一緒に調べ物をしたり本を選んだりできる日や時間があってもいいんじゃないかと思ひます。

市の考え方【4】

市立図書館では令和2年度に旧展示室を改装し、子ども読書空間（愛称：ブックキャンプ）がオープンしました。「読書キャンプ」をコンセプトに、楽しく読書に親しんでもらうことを目的としており、空間内では写真撮影及び会話を可としています。また、ボランティアによる選書支援やおはなし会など、親子で読書に親しむことができるような行事を実施しています。

加えて、令和5年度に新しく「まなびのコテージ」という調べ学習エリアを児童室に整備しました。

計画（案）の基本方針2「子どもの読書環境の整備・充実」では、子ども読書空間の活用促進及び調べ学習エリアの整備を具体的施策に掲げています。

今後ともいただいたご意見を参考に、利用者の皆様から愛される図書館を目指して図書館運営に取り組んでいきます。

いただいた意見・提案【5】

2.外国語を母語とする子どもの母語の絵本や本、ふりがな付きの本や漫画などの収集

多言語お話会は母語教育、子どもが様々な言語に触れることができる、読む側としてネイティブスピーカーの住民や留学生などが市民交流できる場としてもぜひ進めてほしいと思ひます。また、子どもも大人も言葉が違ったり漢字が苦手でも、同じ本の翻訳版やふりがなつきで同じストーリーを共有できたらいいなと思ひます。堅苦しくなく読める人気作品がいいです。外国語を勉強している人も活用できるのではないのでしょうか。翻訳、ふりがなの他にも様々なかたちで読書体験を共有できるといいと思ひます。

市の考え方【5】

貴重なご意見ありがとうございます。

いただいたご意見のとおり、母語教育のためだけではなく、多様な立場の人々が図書館で交流することや、図書に親しむことが大切だと考えています。現在も外国語の絵本など子どもが手に取りやすい資料を収集しておりますが、引き続き蔵書の充実に取り組むとともに、おはなし会の実施についても取り組んでいきたいと思ひます。

いただいた意見・提案【6】

3.オーサービジットや作文ワークショップなど

読書から一歩進んで創作にも興味を持てるといいと思ひます。また、書いた文章を投稿できたり、創作

したものを発表したり掲示したりする機会もあるといいかと思ひます。

市の考え方【6】

読書だけではなく、文章を書くことで自分の考えを他者に伝える力や、表現力を磨くことも子どもの学びに重要だと考えています。計画（案）の基本方針1「家庭、地域、学校等における子どもの読書活動の推進」では、キャリア教育に関する行事の実施を具体的施策に掲げており、オーサービジット（作家による特別授業）を含め、様々な職業に関する講演などを検討していきます。

また、計画（案）の基本方針2「子どもの読書環境の整備・充実」では、調べ学習エリアの整備を具体的施策に掲げており、整備した「まなびのコテージ」では学習成果の発表の場として運用することも検討しております。

いただいたご意見を参考に、今後とも利用者の皆様から愛される図書館を目指して図書館運営に取り組んでいきます。

いただいた意見・提案【7】

4. 寄付・寄贈の募集

子どもたちに本を送りたいという気持ちを持っていても、寄付は少額だと気が引けるし寄贈はどんな本が喜ばれるのかわからないという人が私の他にもいるんじゃないかと思ひます。絵本は痛むのが早そうだし、たとえば子どもコーナーの入り口に可愛い「えほん貯金箱」を置いてみてはどうでしょうか。また図書館からこの本、このシリーズをぜひ寄贈して欲しい、といった発信があってもいいと思ひます。

市の考え方【7】

寄贈は随時受付しており、処理を一任していただいた上で市立図書館の所蔵基準にて受け入れを行っています。1冊からの寄贈も受付していますので、お問い合わせいただければ幸いです。

また、市立図書館からの希望図書の発信については、いただいたご意見を参考に検討していきます。